

～生活困窮者自立支援法制定直前集会～

# 「社会的孤立と困窮を 生まない地域づくり」

日時：3月29日(日)13:00～17:40

会場：池袋ISPタマビル8階会議室

(東京都豊島区東池袋1-44-3)

## プログラム

13:00～13:20 開会の挨拶 永戸祐三(労協連理事長)

13:20～14:20 記念講演 宮本太郎(中央大学教授、生活困窮者支援全国ネットワーク共同代表)

### 「社会的孤立と困窮を生まない地域づくりのために」



宮本 太郎(みやもと たろう)

1958年東京都に生まれる。中央大学法学部教授。政治学、福祉政治論専攻。政治学博士。中央大学大学院法学研究科博士課程修了。立命館大学法学部助教授、ストックホルム大学客員研究員、北海道大学法学部教授などを経て、2013年より現職。

生活困窮者自立支援ネットワーク 代表

14:35～15:05 自治体・他団体からの激励の挨拶

15:05～16:35 パネルディスカッション 「ワーカーズコープが運営する現場からの発言(仮称)」

「若者支援の現場から、新しい仕事おこしの可能性」せたがや若者サポートステーション  
「誰も排除されない仕事おこし:駅前清掃の現場から考えた」西部リングス事業所  
「板橋区自立相談支援事業の立ち上げと新しい地域づくり」板橋自立支援事業所  
「中間的就労:ジョブトレーニングの受け入れから就労へ」神奈川事業本部  
「生活困窮者自立支援モデル事業から見えてきたこと」埼玉就労支援事業所生活・自立相談「よりそい」

16:50～17:20 リレートーク(他団体の実践)

- ①TENOHASI・ホームレス資料センター
- ②ワーカーズコープちば
- ③神奈川から1団体

17:20～17:40 閉会の挨拶 藤田徹(センター事業団理事長)



主催：日本労働者協同組合連合会(ワーカーズコープ)センター事業団 首都圏事業本部

共催：日本労働者協同組合連合会・各首都圏日本社会連帯機構首都圏地方委員会・協同総合研究所  
ホームレス資料センター・NPO 法人 TENOHASI

後援：中央労福協・東京労福協

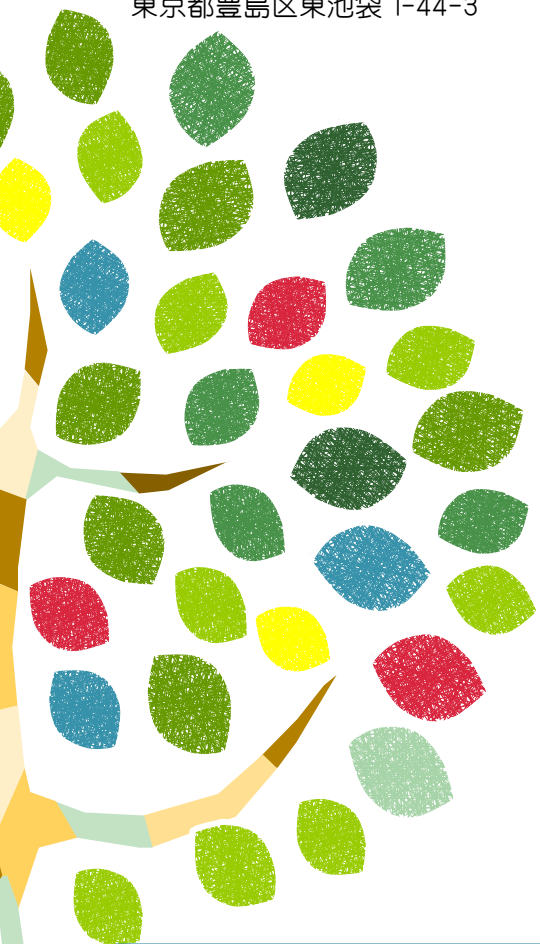
## 開催趣旨

2015年4月より生活困窮者自立支援制度が施行される。この制度は第2のセーフティネットとして、これまでにない全く新しい枠組みを作ることによって生活困窮を支える枠組みを作ろうとしており、生活困窮者の「自立と尊厳を支える」、「支援を通じた地域づくり」が目的に謳われています。私たちワーカーズコープは制度実施を直前に、「生活困窮者を生まない地域づくり」をテーマに、当事者主体のまちづくりと就労創出を目的に、地域に多様なネットワークをつくり広げるために今集会を開催します。

## 会場案内

### 池袋 ISP タマビル

東京都豊島区東池袋 1-44-3



↓ 参加申込書に記入のうえ、下記申し込み先まで FAX にて送信してください ↓

※ご提供いただいた個人情報は、今後のお知らせ以外の目的には一切使用しません

参加申込書：FAX 03-5937-2632

フリガナ				
お名前		男・女	所属 企業名 団体名 学校名 他	
ご住所	〒	-	TEL	- -
			FAX	- -
			E-mail	@

申込み・問合せ先

NPO 法人ワーカーズコープ東京中央事業本部

東京都新宿区高田馬場3-8-5安永ビル2F TEL03-5937-2632/FAX03-5937-2652